

ふだん何気なく歩いている家の周りにも、調べてみたら興味のわいてくる植物がたくさんあります。植物の名前の由来や歴史的背景などを知ると、いっそう植物に対する興味・関心が広がってきます。ほんの少しの時間でもよいから、自分の家の近くをゆっくり歩いて植物を観察してみましょう。ふだん見過ごしている植物も、見方によっていろいろなことが分かり、新しい発見へと導いてくれます。



イネも花が咲くの？

おや？イネに花が咲いているよ。花びらはないけど、白いおしべが見えるよ。

秋の七草，全部知っているかな？

かれん
可憐なピンクの花が咲いているよ。これはカワラナデシコといって秋の七草の1つだよ。あと6つは何だろう？



サルでも滑るの？

サルスベリすべという木の花だよ。樹皮がはがれて、つるつるの表面になるのが特徴だよ。サルでもこの木は滑ってしまうだろうということからこの名がついたよ。



外国からやってきたの？

上がシロツメクサ，下がムラサキツメクサだよ。名前の由来は、江戸時代にオランダからのガラス製品の詰め物としてこの植物が使われ、「詰め草」と呼ばれたことによる。

このように外国から伝わり日本で定着した植物を，きかしよくぶつ帰化植物というよ。



カボチャの花はどれ？

上からナス，カボチャ，キュウリの花が咲いているよ。これらの植物は、これから子房の部分をどんどん膨らませていき、大きな果実へと成長していくよ。さて、この中で雄花と雌花に分かれている植物はどれかな？すべての花が果実になるとは限らないよ。

調べてみよう

植物の花の色，つくり，におい，葉のつき方，名前の由来など，植物図鑑を利用して調べてみましょう。